【調査の概要】

1 調査の目的

鳥取県は、都会にはない鳥取県の強みを活かし、県民の皆さんとともに様々な地方創生の取組を進めています。

これからも、県民の皆さんが住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けていただけるよう現在の状況や今後の要望など、率直なご意見をお伺いするため調査を行ったものです。

2 調査の概要

(1)調査対象 鳥取県内在住の18歳以上75歳未満の者3,000名

(2)抽出方法 住民基本台帳に基づく無作為抽出法

(4)調査方法 (2)により抽出した者に対し、郵送により調査票を送付して、回答は郵送またはイン

ターネットにより受付した。なお、調査票の提出は無記名とした。

(5)有効回答数 1,760 名

(6)回収率 58.7% (1,760/3,000)

・郵送回答:1,097(62.3%)・インターネット回答:663(37.7%)

(7)回答者の属性 性別:男性 736 人(41.8%)、女性 944 人(53.6%)

その他・回答したくない35人(2.0%)、無回答45人(2.6%)

年齢:18~19歳(2.8%)、20~29歳(10.2%)、30~39歳(13.7%)、

 $40\sim49$ 歳 (15.9%)、50~59 歳 (17.5%)、60~69 歳 (25.5%)、

70 歳以上(12.9%)、無回答(1.5%)

3 資料のみかた

(1) 比率(%:パーセント)の表示について

原則として、各設問の無回答を含む集計対象総数(副設問では設問該当対象数)に対する百分率(%)を表している。複数回答を求める設問では、百分率の合計は100%を超える。

また、百分率は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第 1 位までを表示した。このため、百分率の合計が 100%とならず、端数が生じたものがある。

(2)「無回答」の取り扱いについて

以下については「無回答」として取り扱うこととした。

- ・回答が選択されていない場合
- ・指定回答数以上を回答している場合 例) 単数回答の設問に複数回答を行っている場合など

(3)クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18~19歳」標本の取り扱いについて

クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18~19 歳」は標本数が少ないため、他の性別又は年代と比較・分析する場合は除外することとした。

※「性別:その他(50~59歳)」については、該当者なしのため記載なし。

4 回収状況と信頼区間

(1)必要標本数について

今回の調査においては、18歳以上75歳未満の鳥取県推計人口366,553人(令和3年10月1日時点)から無作為に3,000人を抽出し、調査の依頼を行った。そのうち有効回答数は1,760人であり、回収率は58.7%であった。

まず、標本数の設定については、次の式によって与えられる。

$$A = \frac{N}{\left[\begin{array}{c} \frac{\epsilon}{X(\alpha)} \end{array}\right]^2 \cdot \begin{array}{c} \frac{N-1}{\sigma^2} \ + \ 1 \end{array}}$$

A = 必要標本数

α = 推定を誤る確率

 $X(\alpha)$ = 正規分布の性質から与えられる値(1.96)

N = 母集団の大きさ(満 18 歳以上 75 歳未満の県民)

 σ^2 = 母分散

ε = 精度

本調査では、信頼度を 95%として計算を行った。この場合、 $X(\alpha)$ は、1.96 であり、母集団の大きさは 366,553人。精度を仮に 3%、母比率を 50%とし、それぞれ代入して計算すると、以下のとおりとなる。

$$A = \frac{366,553}{\left[\frac{3}{1,96}\right]^2 \cdot \frac{366,552}{50\times50} + 1} = 1064.013$$

よって、今回の調査において必要な最小標本数は1,064人であり、有効回答1,760人はこの条件を満たしているといえる。

(2)標本誤差について

有効回答票の標本誤差を次の式によって計算した。

$$B = \pm \ 1.96 \cdot \sqrt{ \left[\begin{array}{c} N-n \\ N-1 \end{array} \right] \ \cdot \ \frac{Q(1-Q)}{n} }$$

B = 標本誤差

N = 母集団の大きさ(満 18 歳以上 75 歳未満の県民)

n = 回答者総数(1,760人)

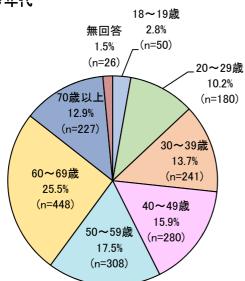
Q = 母比率(0.5 とする)

$$B = \pm \ 1.96 \cdot \sqrt{\left[\begin{array}{c} \frac{364,793}{366,552} \end{array}\right] \ \cdot \ \frac{0.5(1-0.5)}{1,760}} \ = \pm \ 2.33$$

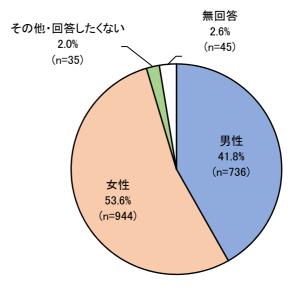
すなわち、標本誤差は ±2.3% しかないといえる。

5 回答者の情報

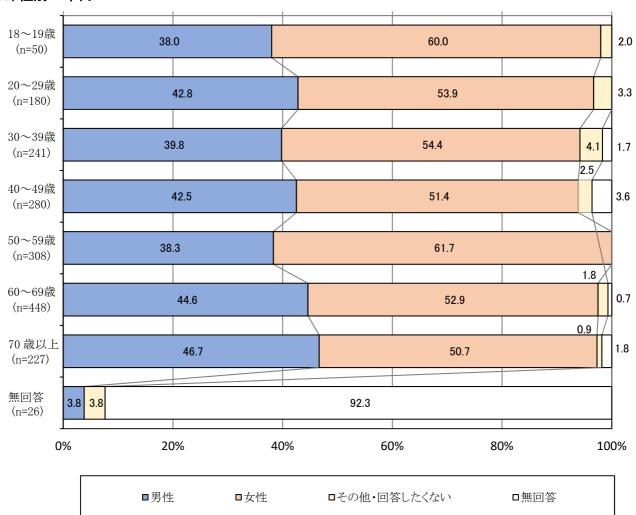




(2)性別



(3)性別×年代



<市町村別調査対象者数>

区	分	人口		抽出数			
		男性	女性	合計	男性	女性	合計
東部地	鳥取市	63,855	63,722	127,577	522	522	1,044
	岩美町	3,597	3,546	7,143	30	29	59
	八頭町	5,270	5,259	10,529	43	43	86
	若桜町	886	853	1,739	7	7	14
区	智頭町	2,047	1,971	4,018	17	16	33
	(小計)	75,655	75,351	151,006	619	617	1,236
	倉吉市	14,627	15,483	30,110	119	127	246
中	湯梨浜町	5,264	5,344	10,608	43	44	87
部	三朝町	1,930	1,885	3,815	16	15	31
地	北栄町	4,652	4,793	9,445	38	39	77
区	琴浦町	5,180	5,224	10,404	42	43	85
	(小計)	31,653	32,729	64,382	258	268	526
	米子市	47,585	50,121	97,706	390	410	800
	境港市	11,008	10,907	21,915	90	89	179
	南部町	3,392	3,396	6,788	28	28	56
西	伯耆町	3,418	3,390	6,808	28	28	56
部	日吉津村	1,147	1,230	2,377	10	10	20
地	大山町	4,972	4,842	9,814	40	40	80
区	日南町	1,322	1,111	2,433	11	9	20
	日野町	887	853	1,740	7	7	14
	江府町	802	782	1,584	7	6	13
	(小計)	74,533	76,632	151,165	611	627	1,238
合 計		181,841	184,712	366,553	1,488	1,512	3,000

<回答者の情報>

【性別】

区分	件 数	割 合(%)
男性	736	41.8
女性	944	53.6
その他	35	2.0
回答した		
くない		
無回答	45	2.6
計	1,760	100

【年代】

区 分	件 数	割 合(%)
18~19歳	50	2.8
20~29 歳	180	10.2
30~39 歳	241	13.7
40~49 歳	280	15.9
50~59 歳	308	17.5
60~69 歳	448	25.5
70 歳以上	227	12.9
無回答	26	1.5
計	1,760	100

【職業】

区 分	件 数	割 合(%)
会社員	785	44.6
(公務員含む)		
自営業	160	9.1
(家族従業者含む)		
パート	292	16.6
•		
アルバイト		
学生	70	4.0
専業主婦	163	9.3
・主夫		
無職	252	14.3
無回答	38	2.2
計	1,760	100

【住まい】

区 分	件 数	割 合(%)
鳥取市	614	34.9
米子市	451	25.6
倉吉市	133	7.6
境港市	97	5.5
岩美町	36	2.0
八頭町	56	3.2
若桜町	7	0.4
智頭町	19	1.1
湯梨浜町	59	3.4
三朝町	19	1.1
北栄町	55	3.1
琴浦町	41	2.3
南部町	28	1.6
伯耆町	30	1.7
日吉津村	12	0.7
大山町	40	2.3
日南町	13	0.7
日野町	9	0.5
江府町	11	0.6
無回答	30	1.7
計	1,760	100